

整理No. 2015-57		労働災害状況調査表			
災害発生日時		2015年 4月 23日(木) 16時 50分 天候(晴れ) 温度(- °C)湿度(- %)			
災害区分		<input checked="" type="radio"/> 不休災害 <input type="radio"/> 休業災害 (休業:△日)			
被 災 者	部門	技術		雇用形態 <input checked="" type="radio"/> 正社員、派遣、契約、その他()	
	年齢	48 歳	性別: <input checked="" type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女	勤続年数 9年1か月	経験年数 9年1か月
	傷病名	右手首切創(3針縫合全治全治10日)			
	傷病部位	右手首			
災 害 発 生 状 況	プライマー板を作成しようと金属板を持った際に指から外れてしまい、金属板が塗装台に落ちたところに思わず右手を出してしまったことよって、塗装台で跳ね返った金属板の端部が右手首内側に当たり、切創した。 (長袖作業服着用していたが、軍手等の保護具は着用していなかった。)		状況概略(写真orイラスト) <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 不安定な姿勢で素材板を落としやすい状 </div> 		
	災害の型 ^{※1)}	6. 切れ、こすれ		作業の形態: <input checked="" type="radio"/> 定常、非定常、その他()	
	起因物:	塗装板		特記事項	
原 因 分 類	1. 人的要因(man)				
	不安定な姿勢で素材板を落としやすい状況であった。				
	2. 物に関する要因(machine)				
	切創の可能性のある素材(金属)であったが、ゴミブツ付着防止のため保護具着用の対象外であった。				
3. 環境要因(media)					
オープン入り口に近いことを意識して作業台の短辺に作業位置を決めていた。					
4. 管理的要因(management)					
プライマー板作成業務は慣れた作業であり危険度の感覚が低下していた。					
対 策	①長袖作業服を着用及び手首の露出防止のため耐切創サポーターを導入。				
	②作業の見直しを行い、作業機短辺での塗装作業を禁止とする。				
	③作業標準の見直し改正。				
	④塗装台に『鉄板は刃物と同様、取り合扱い十分注意する』の表示。				
	⑤他拠点への横展開実施。				
対策分類 ^{※2)} : 1-1安全情報、1-6教育、2-4危険認識、2-5動機付け					

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)